| 課題番号 | :F-19-OS-0019 |
|-------------------------|--|
| 利用形態 | :機器利用 |
| 利用課題名(日本語) | :高結晶性ナノカーボン材料の創成とデバイス応用 |
| Program Title (English) | : Fabrication of highly crystalline nanocarbon materials for the device $% \left({{{\left[{{{\left[{{{\left[{{{c}} \right]}} \right]}_{i}}} \right]}_{i}}}} \right)$ |
| | applications |
| 利用者名(日本語) | :根岸良太,魏超鵬、小林慶裕 |
| Username (English) | : <u>R. Negishi</u> , C. Wei, Y. Kobayashi |
| 所属名(日本語) | :大阪大学大学院 工学研究科 精密科学·応用物理学専攻 |
| Affiliation (English) | :Dep. Applied Physics, Graduate School of Engineering, Osaka University |
| キーワード/Keyword | :電子ビーム蒸着装置、膜加工・エッチング、微細加工、ナノカーボン |

<u>1. 概要(Summary)</u>

層間相互作用の弱い乱層積層した多層グラフェンでは、 単層グラフェンの電子構造に起因した線形性分散を保持 するため、高移動度と多層化による高い電気伝導とを両 立した優れた電子材料として注目されている。我々はこれ まで、単層グラフェンを成長核とした気相成長法により、 乱層積層した多層グラフェンの形成が可能であることを見 出してきた。本課題では、成長した乱層積層・多層グラフ ェン薄膜のキャリア伝導特性を比較することで、理論的に 指摘されている乱層構造の特異なキャリア輸送特性の検 討を行った。

<u>2. 実験(Experimental)</u>

【利用した主な装置】

- EB 蒸着装置
- リアクティブイオンエッチング装置

【実験方法】

合成した乱層積層・多層グラフェン薄膜を、マスクレス 露光装置・電子ビーム蒸着装置・エッチングを利用したリ ソグラフィー工程により、電界効果型トランジスタ構造を組 み込み、キャリア伝導特性を観察した。

3. 結果と考察(Results and Discussion)

Fig. 1 に、バッファー液中のトップゲート操作により得ら れた多層グラフェンチャネルのトランスファー特性を示す。 ディラックコーン電子物性を反映した両極性を示している。 ディラック点近傍の相互コンダクタンス(dI/dV)が2層付近 で増大しており、キャリア移動度の向上を示唆している。 Fig. 2 に、ホール測定による移動度評価の結果を示す。 層数の増加にキャリア移動度が2-4層付近で最大値を 示し、トランスファー特性の結果とよく一致している。これら の結果は、多層化に伴うスクリーニング効果により基板上 の不純物電荷散乱の影響が軽減されたため、層数の増加 に伴い伝導特性が向上したものと考えられる。特に、2-4 層付近の移動度向上は、乱層積層による寄与が大きいと 考えられる。以上のように、本手法により得られる乱層型 多層グラフェンは、単層グラフェンの課題である環境効果 の低減やキャリ輸送特性の向上に有効であると結論付け る。





Fig. 1 Transfer characteristics in turbostratic multilayer graphene channel.

Fig. 2 Layer number vs. carrier mobility of turbostratic multilayer graphene device.

<u>4. その他・特記事項(Others)</u> 関連課題番号:S-19-OS-0018

<u>5. 論文·学会発表(Publication/Presentation)</u>

- R. Negishi, C. Wei, Y. Yao, Y. Ogawa, M. Akabori, Y. Kanai, K. Matsumoto, Y. Taniyasu and Y. Kobayashi, Physica Status Solidi B, Vol. 257 (2019) pp. 1900437/1-5.
- (2) C. Wei, R. Negishi, Y. Ogawa, M. Akabori, Y. Taniyasu and Y. Kobayashi, International Conference on the Science and Application of Nanotubes and Low-Dimensional Materials (NT19) (July 21-26, 2019).

<u>6. 関連特許(Patent)</u>